

静岡県月例経済報告

(令和4年5月号)

……令和4年3月を中心とした県内経済のすがた……

No. 553

— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	5
・需要面	5
・生産面	13
・雇用面	15
・その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和4年3月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和4年3月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症等の影響から供給面の制約が残り、足踏み状態が続いている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和による持ち直しの動きが期待される一方、原材料価格の高騰や部品供給停滞等、海外情勢が及ぼす影響に留意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きがみられる。

- ・ 個人消費は、全体として横ばいとなっている。
- ・ 設備投資は、底堅く推移している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、弱めの動きが続いている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、全体として横ばいとなっている」

大型小売店販売額(3月)は、百貨店、スーパーがいずれも前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(3月)は、ホームセンターは前年と同水準で、コンビニエンスストアが前年実績を下回ったものの、家電大型専門店、ドラッグストアが前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(3月)は、乗用車、軽自動車がいずれも前年実績を下回ったため、総数でも9か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(3月)は、持家が前年実績を下回ったものの、貸家、分譲住宅が前年実績を上回ったため、総数でも4か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(3月)は、4か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、底堅く推移している」

日銀短観(3月調査)の令和4年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(3月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額(3月)は、自動車¹が10か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が2か月ぶり、エアコン、自動車の部分品がいずれも2か月連続、二輪自動車類が5か月連続、科学光学機器が9か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも4か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額(3月)は、魚介類及び同調製品、自動車の部分品がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、木材が13か月連続、パルプが12か月連続、原動機が14か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも14か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,183億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、弱めの動きが続いている」

鉱工業生産指数(3月)は、業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品が11か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械、化学がいずれも2か月連続、電気機械が9か月連続、輸送機械が10か月連続、食料品・たばこが3か月ぶりに前年水準を下回ったため、総合でも7か月連続で前年実績を下回った。また、前月比は2か月連続で増加した。

なお、鉱工業在庫指数(3月)は、総合では前年と同水準であった。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きがみられる」

有効求人倍率(3月)は1.24倍で、前月を0.03ポイント上回り、全国値を0.02ポイント上回った。

雇用保険受給者実人員(3月)は、10か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(2月)は、3か月連続で前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(2月)は、前年同月比 2.0%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(3月)は、前年同月比 22.2%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産(4月)は、月件数は19件(前年同月比 5.5%増)、負債総額は5,953百万円(同 96.5%増)と、いずれも前年実績を上回った。

<トピックス>

事業継続・強化

燃油・飼料価格高騰による購入費用の増加に対する助成

令和4年2月補正で、燃油・飼料価格高騰に対する助成を創設しました。申請等に関する詳細は、順次公開しますのでご確認ください。

施設園芸燃油価格高騰緊急対策事業費助成	区 分	内 容	お問い合わせ先
	対象者	令和4年度に国のセーフティネット制度に加入する施設園芸農家	農芸振興課 054-221-3299
	対象経費	基準価格を超えた燃油代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年1月～3月	
	申請先	県内各農業協同組合	
	申請期間	令和4年5月18日～6月30日	
飼料価格高騰緊急対策事業費助成	区 分	内 容	
	対象者	畜産農家（※）等	畜産振興課 054-221-2705
	対象経費	基準価格を超えた飼料代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年1月～3月	
	申請先	静岡県配合飼料価格安定基金協会等	
	申請期間	令和4年6月～7月（予定）	
漁業用燃油価格等高騰緊急対策事業費助成	区 分	内 容	
	対象者	漁業者、養殖業者（※）	水産振興課 054-221-2695
	対象経費	基準価格を超えた燃油代、飼料代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年1月～3月	
	申請先	静岡県漁業協同組合連合会	
	申請期間	令和4年4月19日～6月10日	

※国のセーフティネット制度に、令和4年度以降、加入することを要件とする。

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の申込状況

(R4年5月24日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～ 3	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R4.3.31】	億円 697	件 4,186	建設業29.7%、卸小売業18.1%、製造業15.5%、飲食業8.7%、運輸業3.7%、宿泊・旅行業2.1%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R4.3.31】	億円 278	件 1,776	建設業24.5%、卸小売業21.1%、製造業20.2%、飲食業9.5%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業3.2%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R4.3.31】	億円 14	件 53	製造業60.4%、卸小売業17.0%、建設業11.3%、運輸業11.3%
R4	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R4.4.1～】	億円 19	件 202	建設業38.6%、卸小売業17.8%、製造業13.4%、飲食業5.9%、運輸業3.0%、宿泊・旅行業0.5%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R4.4.1～】	億円 30	件 208	建設業31.3%、製造業23.1%、卸小売業19.2%、飲食業8.7%、運輸業1.0%、宿泊・旅行業1.0%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R4.4.1～】	億円 1	件 6	製造業66.6%、建設業16.7%、卸小売業16.7%
計		億円 11,437	件 68,255	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R3年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月
農・林・ 漁・鉱業	▲17.0	▲10.3	47.3	0.6	▲7.4	▲15.8	8.6	45.8	▲6.6	43.0	24.8	▲16.7
建設業	2.0	4.8	7.1	13.7	7.9	1.4	6.4	4.1	8.6	2.3	9.4	4.7
製造業	51.6	51.5	55.8	70.3	42.0	29.4	45.9	42.2	32.6	39.0	33.0	16.6
卸売・小売業	▲3.9	18.2	17.4	4.5	11.1	14.6	13.7	10.3	12.6	18.1	20.8	19.2
金融、保険 不動産業	7.3	11.1	▲20.5	33.3	6.1	▲35.6	35.7	9.7	21.4	13.3	21.3	5.9
運輸業	▲3.2	▲0.5	13.4	▲0.1	10.7	23.5	1.8	31.2	36.0	14.1	▲3.7	28.2
情報通信業	16.5	16.6	9.0	23.5	4.3	2.8	▲5.4	▲9.6	7.6	▲6.8	2.7	38.2
飲食、宿泊 サービス業他	31.8	8.8	48.8	24.8	4.6	26.2	17.5	17.8	28.3	28.2	10.3	23.1
県全体	14.3	15.2	23.5	16.5	11.5	13.5	17.8	15.2	15.6	20.1	10.8	15.3

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R3年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月
農・林・ 漁・鉱業	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1
建設業	3	2	4	3	4	4	7	6	3	1	6	2
製造業	4	4	2	0	3	4	2	2	1	1	3	3
卸売・小売業	1	1	1	1	2	4	2	1	0	1	4	5
金融、保険 不動産業	0	1	2	1	2	1	1	0	1	0	0	0
運輸業	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0
情報通信業	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
飲食、宿泊 サービス業他	6	3	3	3	4	6	5	3	3	2	2	8
県全体	15	13	13	8	15	20	19	13	8	7	16	19
うちコロナ 関連倒産	4	4	4	0	7	2	1	5	2	3	5	6

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

3月 = 36,202百万円

*前年同月比： 0.5%増

(県内3百貨店、152スーパー合計)

<概況>

3月の大型小売店販売額は36,202百万円で、前年同月比 0.5%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 0.9%増）が2か月ぶり、スーパー（同 0.4%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、身の回り品（同 1.7%減）が2か月連続、飲食料品（同 0.1%減）が2か月ぶり、家庭用品（同 3.9%減）が11か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 3.5%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.3%増と、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
販売額(百万円)	35,700	33,849	35,908	35,768	44,977	37,583	33,491	36,202
前年同月比(%)	▲6.2	▲2.1	0.8	▲0.1	▲0.3	0.9	2.2	0.5
うち百貨店(%)	▲17.5	▲8.5	7.8	9.1	5.9	8.0	▲2.7	0.9
スーパー(%)	▲4.7	▲1.1	▲0.5	▲1.9	▲1.8	▲0.4	3.0	0.4
(参考1)全国前年同月比(%)	▲4.7	▲1.3	0.9	1.4	1.4	2.6	0.1	1.5
うち百貨店(%)	▲11.3	▲4.2	3.0	8.1	8.9	15.4	▲0.8	4.4
スーパー(%)	▲3.0	▲0.3	0.1	▲1.1	▲1.6	▲1.0	0.4	0.4
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲6.1	▲3.0	▲0.6	▲0.8	▲0.1	1.4	2.2	0.3

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
衣料品	▲22.6	▲10.4	0.8	3.1	▲3.5	4.8	▲11.9	3.5
うち紳士服・洋品	▲21.5	▲6.0	▲2.2	5.9	▲2.0	6.2	▲10.8	5.3
婦人・子供服・洋品	▲25.5	▲12.9	3.5	2.7	▲3.7	4.8	▲11.8	1.9
身の回り品	▲23.8	▲18.2	▲4.2	▲2.0	▲4.5	2.8	▲12.2	▲1.7
飲食料品	▲3.2	▲0.3	▲0.3	▲1.3	▲0.6	▲0.1	3.8	▲0.1
家庭用品	▲16.5	▲8.0	▲2.5	▲8.2	▲6.4	▲2.4	▲1.2	▲3.9
うち家庭用電気機械器具	▲25.0	▲13.2	▲4.3	▲17.0	▲14.8	▲7.4	▲7.0	▲2.1

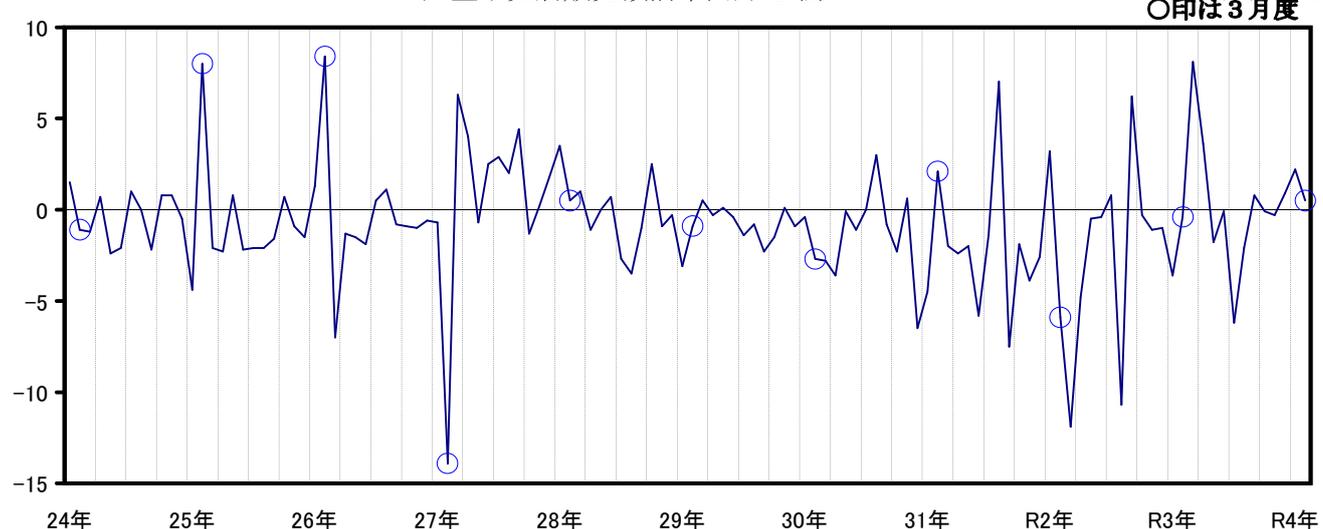
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

3月 = 76,072百万円

*前年同月比：2.4%増

(県内92家電大型専門店、1,681コンビニエンスストア、560ドラッグストア、107ホームセンター合計)

<概況>

3月の専門量販店等販売額は76,072百万円で、前年同月比2.4%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア(前年同月比2.2%減)が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店(同3.6%増)が10か月ぶり、ドラッグストア(同8.0%増)が11か月連続で前年実績を上回った。ホームセンターは前年と同水準であった。

<最近の動き>

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
販売額(百万円)	75,608	70,986	72,804	70,031	80,951	72,289	65,067	76,072
前年同月比(%)	▲5.9	0.4	1.1	▲3.6	▲0.8	2.7	1.6	2.4
うち家電大型専門店(%)	▲22.5	▲7.0	▲2.1	▲11.2	▲12.3	▲5.2	▲3.2	3.6
コンビニエンスストア(%)	▲3.7	▲0.4	▲1.6	▲6.1	2.4	2.5	0.5	▲2.2
ドラッグストア(%)	4.1	5.8	6.5	3.4	3.4	8.2	6.2	8.0
ホームセンター(%)	▲18.8	▲4.0	▲1.6	▲6.1	▲6.9	▲2.9	▲3.7	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲5.7	0.3	1.3	▲2.7	▲0.5	2.0	0.8	2.2

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

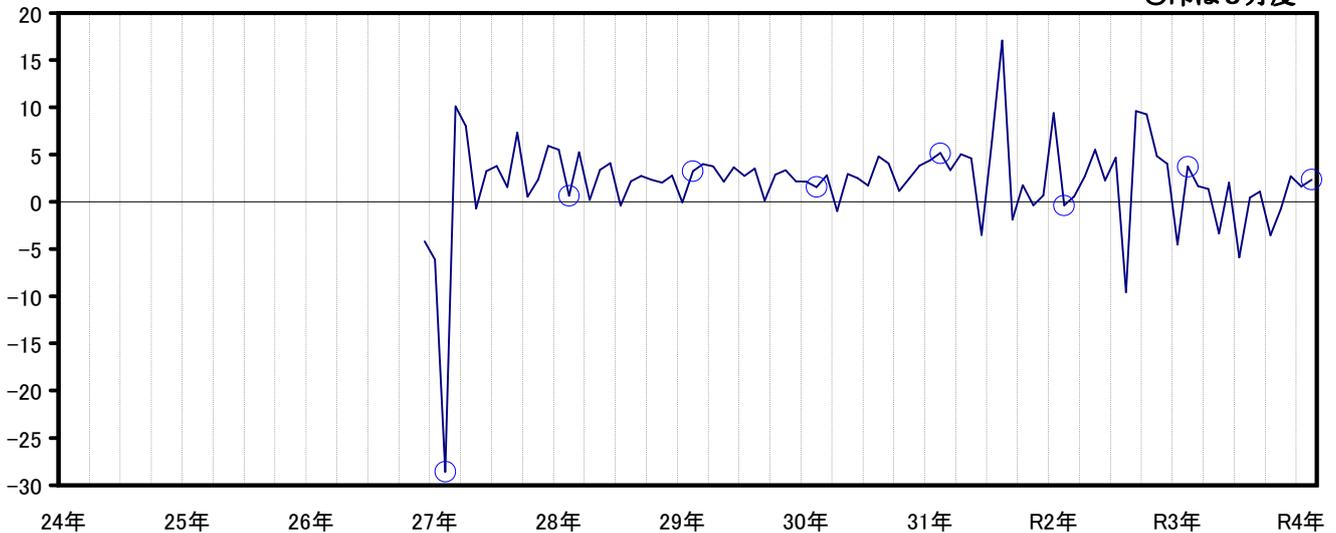
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は3月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数**3月 = 18,091 台**

*前年同月比： 16.9%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

3月の自動車(新車)新規登録台数は18,091台(前年同月比 16.9%減)と、9か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 16.9%減)が7か月連続、軽自動車(同 16.9%減)が9か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
登録台数(台)	11,008	10,296	9,239	12,083	12,175	12,545	13,414	18,091
前年同月比(%)	▲ 3.7	▲ 37.8	▲ 35.6	▲ 15.7	▲ 12.1	▲ 15.1	▲ 17.4	▲ 16.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 2.5	▲ 34.3	▲ 32.2	▲ 13.4	▲ 11.1	▲ 16.1	▲ 19.9	▲ 16.5

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

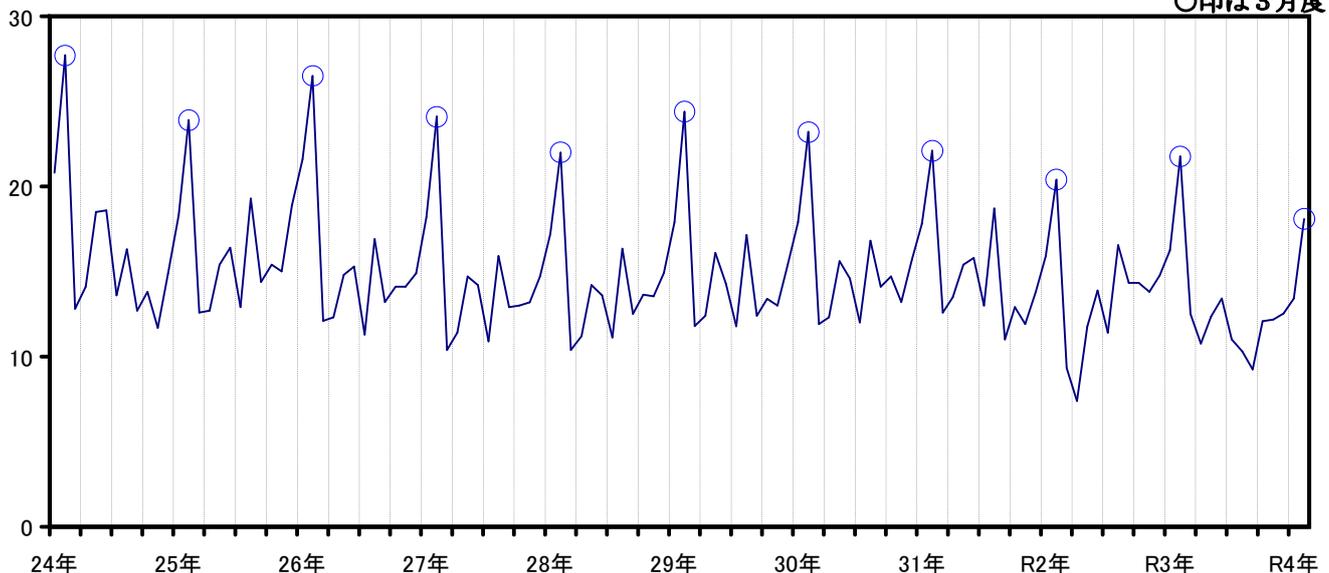
(単位：%)

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
全乗用車	▲ 3.7	▲ 37.8	▲ 35.6	▲ 15.7	▲ 12.1	▲ 15.1	▲ 17.4	▲ 16.9
乗用車	4.4	▲ 38.4	▲ 35.0	▲ 12.0	▲ 16.0	▲ 16.3	▲ 21.6	▲ 16.9
軽自動車	▲ 11.6	▲ 37.2	▲ 36.2	▲ 19.7	▲ 6.9	▲ 13.8	▲ 13.0	▲ 16.9

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は3月度

(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

3月 = 1,731 戸

*前年同月比： 5.0%増

<概況>

3月の新設住宅着工戸数は1,731戸で、前年同月比 5.0%増と、4か月ぶりに前年実績を上回った。
 利用関係別にみると、持家（前年同月比 2.7%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、貸家（同 4.5%増）、分譲住宅（同 31.6%増）がいずれも4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

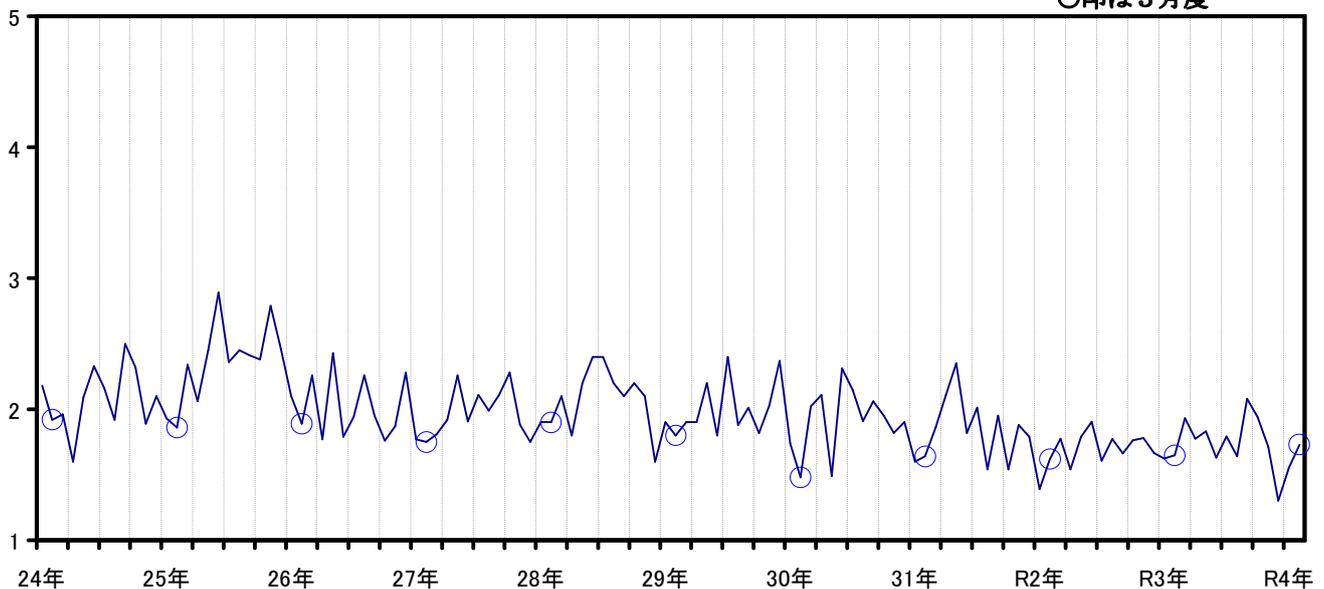
	R 3年8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
戸数 (戸)	1,793	1,641	2,079	1,939	1,712	1,301	1,551	1,731
前年同月比 (%)	11.6	▲ 7.4	25.2	10.0	▲ 3.8	▲ 21.9	▲ 4.6	5.0
うち持家 (%)	20.8	2.4	17.0	24.1	0.0	▲ 21.1	▲ 6.7	▲ 2.7
貸家 (%)	6.0	▲ 30.3	71.7	8.4	▲ 12.6	▲ 29.9	▲ 0.7	4.5
分譲住宅 (%)	▲ 1.8	3.9	▲ 2.4	48.8	▲ 0.6	▲ 16.0	▲ 4.3	31.6
(参考)全国前年同月比 (%)	7.5	4.3	10.4	3.7	4.2	2.1	6.3	6.0

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課
 ○印は3月度



3 公共工事請負金額

3月 = 25,996百万円

*前年同月比：18.9%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

3月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は25,996百万円で、前年同月比18.9%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は482件で、前年同月比4.8%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
金額(百万円)	30,420	45,659	29,681	15,796	18,711	13,879	11,865	25,996
前年同月比(%)	▲18.3	▲14.1	35.7	▲12.0	20.5	45.7	57.8	18.9
年度累計前年同月比(%)	▲21.1	▲19.9	▲16.3	▲16.1	▲14.5	▲13.0	▲11.6	▲10.0
件数(件)	776	1,076	731	661	441	236	207	482
前年同月比(%)	▲0.8	▲15.5	▲6.8	▲0.5	▲13.7	▲6.7	31.0	4.8
年度累計前年同月比(%)	4.3	▲0.9	▲1.8	▲1.6	▲2.5	▲2.7	▲1.9	▲1.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

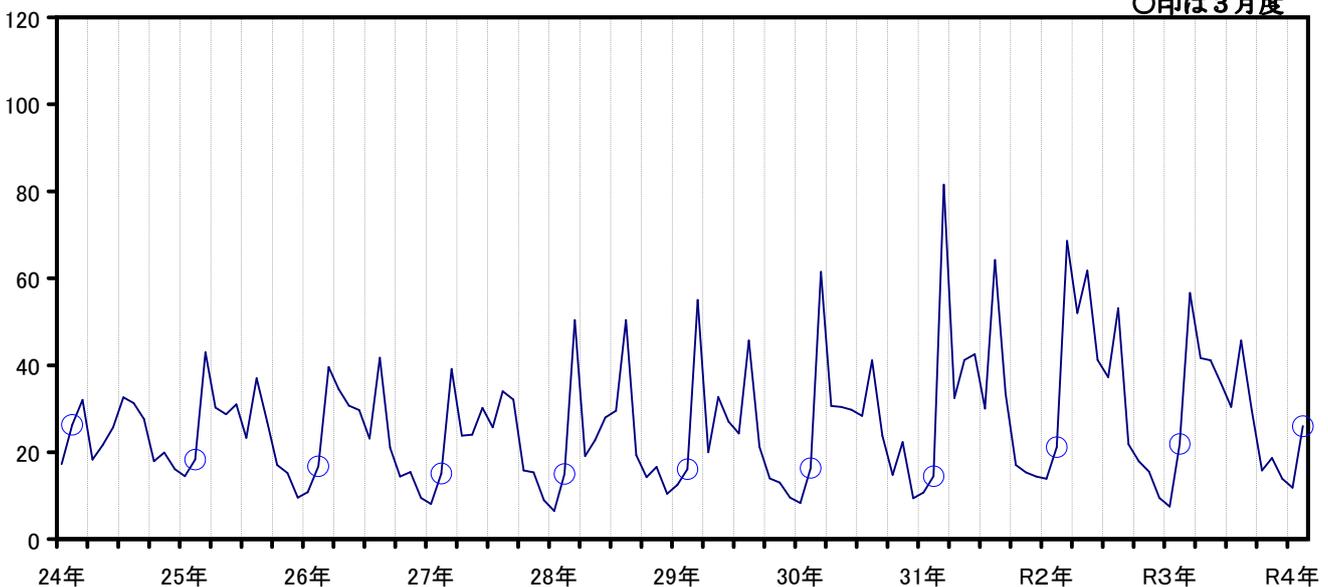
	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
国	▲29.5	▲2.7	2.6	▲41.5	▲59.4	14.6	14.0	51.5
独立行政法人等	▲82.3	35.8	199.7	▲71.2	299.4	72.3	-	940.7
県	1.8	▲17.2	5.8	▲7.3	▲0.5	9.4	59.9	▲18.4
市町	▲3.2	▲31.6	▲13.1	▲6.6	2.4	▲13.6	113.3	9.9
地方公社	1,120.6	▲62.7	▲70.6	▲96.2	-	-	-	-
その他	14.4	▲67.3	1,772.5	1,812.2	212.3	243.1	▲22.7	54.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和3年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少、全産業で増加する計画となっている。

令和4年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 17.1%増）、非製造業（同 14.3%増）、全産業（同 15.8%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 8.0%増）、非製造業（同 15.1%増）、全産業（同 9.7%増）においていずれも増加する計画となっている。

3月の着工建築物床面積（非居住用）は97,183㎡で、前年同月比 17.2%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R3年度 (計画)	R4年度 (計画)
全産業	県	(▲5.7) 4.2	15.8
	全国	(▲3.2) 4.6	0.8
製造業	県	(▲5.7) 20.6	17.1
	全国	(▲3.6) 7.6	9.0
非製造業	県	(▲5.7) ▲9.8	14.3
	全国	(▲2.9) 2.9	▲4.0

（ ）内は前回調査比修正率)

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R3年度 (計画)	R4年度 (計画)
全産業	県	(▲5.3) 8.6	9.7
	全国	(▲3.3) 5.2	3.2
製造業	県	(▲5.0) 14.8	8.0
	全国	(▲3.0) 6.5	6.8
非製造業	県	(▲6.4) ▲6.9	15.1
	全国	(▲3.6) 3.7	▲0.7

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和4年3月調査)」

<最近の動き>

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	135,765	110,714	129,560	107,330	125,604	94,343	66,037	97,183
前年同月比（%）	34.7	24.5	26.1	77.8	119.6	34.6	▲4.4	▲17.2
(参考) 全国前年同月比（%）	▲14.6	▲4.9	46.6	10.9	33.1	▲3.8	11.0	▲15.1

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料> 国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R3年12月	R4年3月	R4年6月 (予測)
全産業	全産業	1	▲5	▲7
	製造業	2	▲5	▲10
	非製造業	2	▲5	▲5
(参考) 全国・全産業		2	0	▲3

(注4) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年3月調査)」

5 輸出

3月 = 228,512百万円

*前年同月比： 3.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸出総額は228,512百万円で、前年同月比 3.1%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 39.4%減）が10か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 17.5%増）が2か月ぶり、エアコン（同 14.5%増）、自動車の部分品（同 29.8%増）がいずれも2か月連続、二輪自動車類（同 32.3%増）が5か月連続、科学光学機器（同 29.9%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 3.4%減）が2か月ぶり、EU向け（同 5.8%減）が7か月連続で前年実績を下回ったものの、米国向け（同 29.1%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 3年8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
輸出総額(百万円)	192,176	212,547	193,141	192,523	198,268	157,955	185,214	228,512
前年同月比(%)	36.8	▲ 2.0	1.6	1.8	▲ 5.3	▲ 6.3	▲ 4.6	3.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 3年8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
原動機	68.0	65.4	▲ 6.1	4.6	▲ 8.3	27.4	▲ 8.1	17.5
エアコン	20.4	18.7	7.1	5.8	11.8	▲ 30.8	1.8	14.5
自動車	▲ 39.2	▲ 46.1	▲ 31.8	▲ 28.3	▲ 10.3	▲ 12.8	▲ 35.7	▲ 39.4
自動車の部分品	51.3	47.4	9.6	25.0	▲ 11.7	▲ 3.0	17.0	29.8
二輪自動車類	115.3	11.9	▲ 17.7	7.1	4.8	49.4	5.1	32.3
科学光学機器	7.9	12.8	20.5	17.7	19.6	13.7	11.8	29.9

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 3年8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
アジア	33.4	23.1	▲ 2.3	5.3	▲ 0.7	▲ 19.2	8.0	▲ 3.4
米国	52.0	▲ 27.7	11.1	14.4	8.6	10.6	▲ 8.9	29.1
EU	31.4	▲ 11.7	▲ 3.0	▲ 20.1	▲ 31.3	▲ 3.2	▲ 22.7	▲ 5.8

<資料>清水税関支署

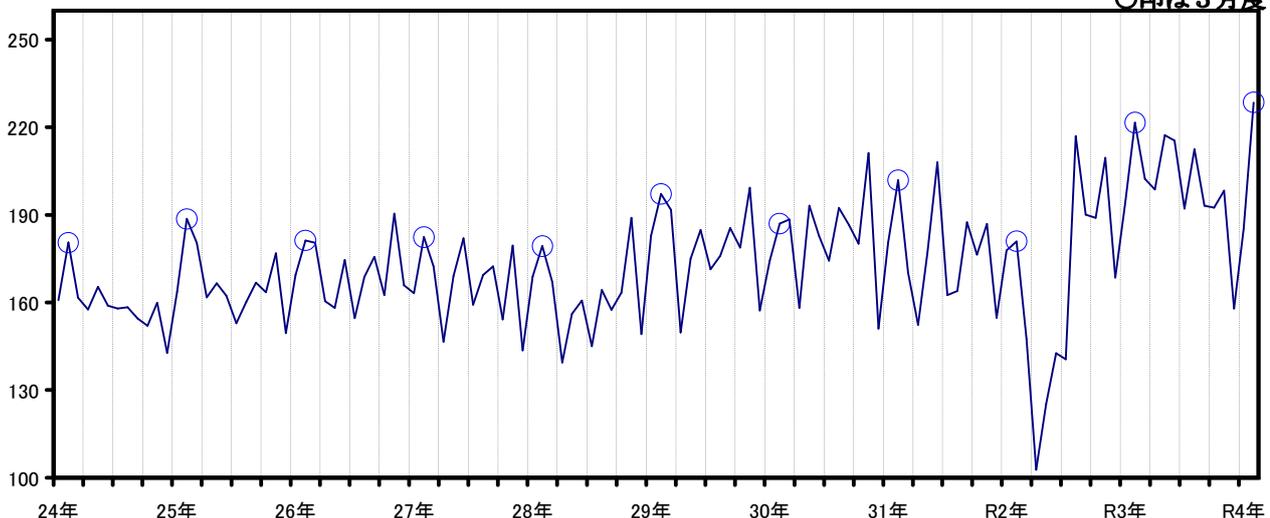
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は3月度



6 輸入

3月 = 110,225百万円

*前年同月比： 3.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸入総額は110,225百万円で、前年同月比 3.3%増となり、14か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 2.6%減）、自動車の部分品（同 26.5%減）がいずれも2か月ぶり、紙類及び同製品（同 17.2%減）が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、木材（同 25.0%増）が13か月連続、パルプ（同 92.7%増）が12か月連続、原動機（同 162.2%増）が14か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジア向け（前年同月比 3.9%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、米国向け（同 13.1%増）が5か月連続、EU向け（同 31.3%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
輸入総額(百万円)	90,608	96,367	91,207	91,552	104,807	104,107	97,596	110,225
前年同月比(%)	28.5	33.2	1.7	6.3	27.8	29.2	21.8	3.3

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
魚介類及び同調製品	37.4	9.9	0.7	0.0	66.6	▲ 13.2	37.8	▲ 2.6
木材	72.5	169.4	49.0	40.4	85.6	79.1	76.2	25.0
パルプ	66.1	46.9	73.5	104.7	53.4	63.6	44.2	92.7
紙類及び同製品	26.8	13.3	▲ 27.3	▲ 25.3	21.4	18.4	20.2	▲ 17.2
原動機	110.2	47.8	29.2	54.4	14.2	224.1	66.5	162.2
自動車の部分品	47.0	50.1	▲ 2.0	▲ 21.3	▲ 5.3	▲ 47.6	0.4	▲ 26.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

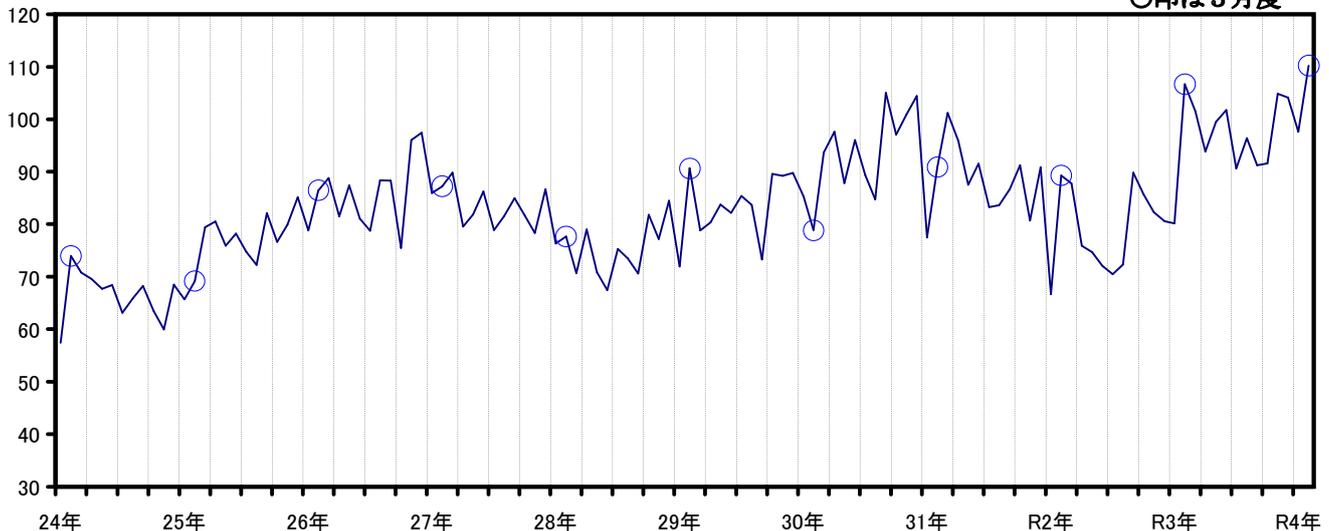
	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
アジア	26.3	28.5	▲ 9.8	4.6	15.7	29.2	15.5	▲ 3.9
米国	▲ 1.8	50.5	▲ 5.7	4.4	25.6	10.5	20.9	13.1
EU	12.7	21.5	7.6	20.9	64.8	23.3	60.8	31.3

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署
○印は3月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

3月 = 89.7

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.0%増

*前年同月比(原指数) : 8.0%減

<概況>

3月の鉱工業生産指数(総合)は89.7(季節調整済指数)で、前月比は1.0%増と、2か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は8.0%減と、7か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品(前年同月比1.3%増)が11か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同8.0%減)、化学(同5.4%減)がいずれも2か月連続、電気機械(同5.6%減)が9か月連続、輸送機械(同14.6%減)が10か月連続、食料品・たばこ(同2.2%減)が3か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
指数	90.2	82.3	86.1	88.7	86.5	85.1	88.8	89.7
前月比(%)	▲0.1	▲8.8	4.6	3.0	▲2.5	▲1.6	4.3	1.0
前年同月比(%)	0.1	▲11.1	▲9.6	▲1.7	▲6.4	▲8.6	▲3.1	▲8.0
(参考)全国前年同月比(%)	8.8	▲2.3	▲4.1	5.1	2.7	▲0.5	0.5	▲1.7

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	27.3	37.2	22.8	5.6	▲3.2	3.8	▲12.2	▲8.0
電気機械工業	▲7.8	▲20.6	▲20.0	▲15.6	▲13.5	▲9.7	▲7.0	▲5.6
輸送機械工業	▲12.0	▲33.0	▲21.6	▲6.3	▲11.7	▲26.3	▲1.4	▲14.6
化学工業	3.7	1.1	▲2.5	9.5	1.0	6.4	▲6.5	▲5.4
パルプ・紙・紙加工品工業	6.8	2.3	0.4	3.3	2.0	1.8	1.6	1.3
食料品・たばこ工業	▲4.3	▲7.5	▲6.8	▲0.6	▲1.2	5.2	9.1	▲2.2

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

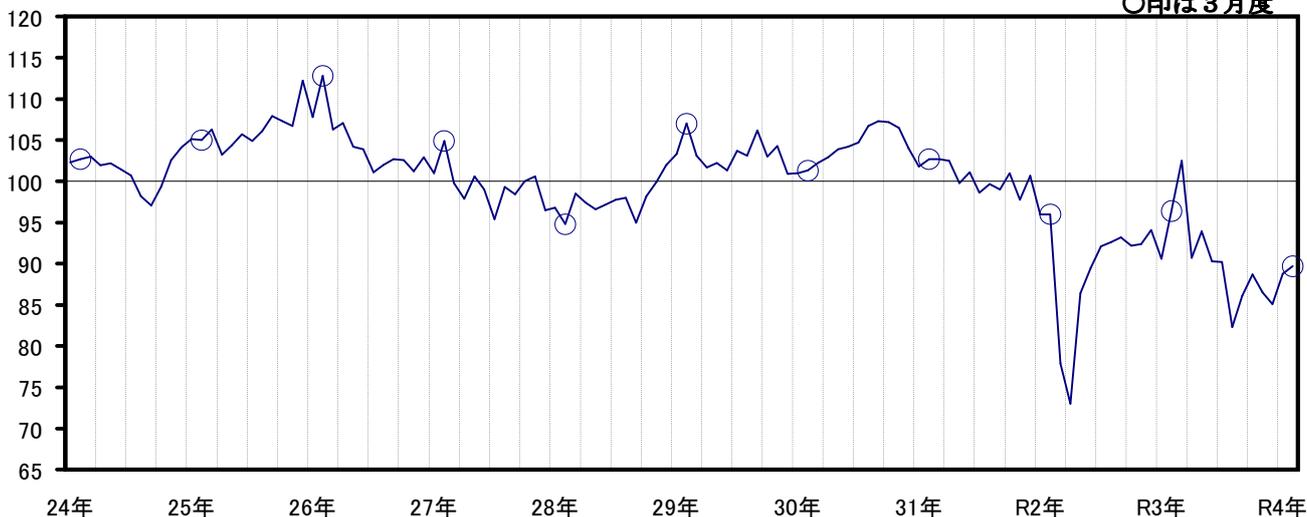
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は3月度



(2) 鋳工業在庫指数

3 月 = 98.4

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 2.5%減

* 前年同月比(原指数) : 0.0%増

<概況>

3月の鋳工業在庫指数(総合)は98.4(季節調整済指数)で、前月比は2.5%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は、前年と同水準であった。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、輸送機械(前年同月比 8.5%増)、食料品・たばこ(同 5.4%増)がいずれも2か月連続、化学(同 10.6%増)が3か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 26.9%減)が2か月連続、電気機械(同 5.2%減)が3か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 9.2%減)が10か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 3年8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
指数	101.3	106.7	105.9	104.1	101.1	99.9	103.3	98.4
前月比(%)	1.9	5.3	▲ 0.7	▲ 1.7	▲ 2.9	▲ 1.2	3.4	▲ 2.5
前年同月比(%)	▲ 4.2	1.5	2.9	0.0	▲ 2.8	▲ 6.3	▲ 3.4	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 3.7	0.5	2.2	5.6	5.0	4.6	7.1	6.8

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 3年8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 2.6	2.3	2.3	1.4	1.8	0.0	▲ 23.8	▲ 26.9
電気機械工業	15.8	4.8	▲ 0.1	▲ 3.9	▲ 9.6	2.7	2.5	▲ 5.2
輸送機械工業	▲ 18.1	▲ 17.0	▲ 16.6	▲ 13.9	▲ 18.6	▲ 46.8	5.2	8.5
化学工業	▲ 8.2	3.6	5.4	▲ 5.6	1.6	▲ 6.1	▲ 8.9	10.6
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 5.4	▲ 5.3	▲ 3.8	▲ 5.1	▲ 4.2	▲ 2.0	▲ 6.4	▲ 9.2
食料品・たばこ工業	▲ 1.2	7.6	22.3	14.6	▲ 10.8	▲ 2.3	3.3	5.4

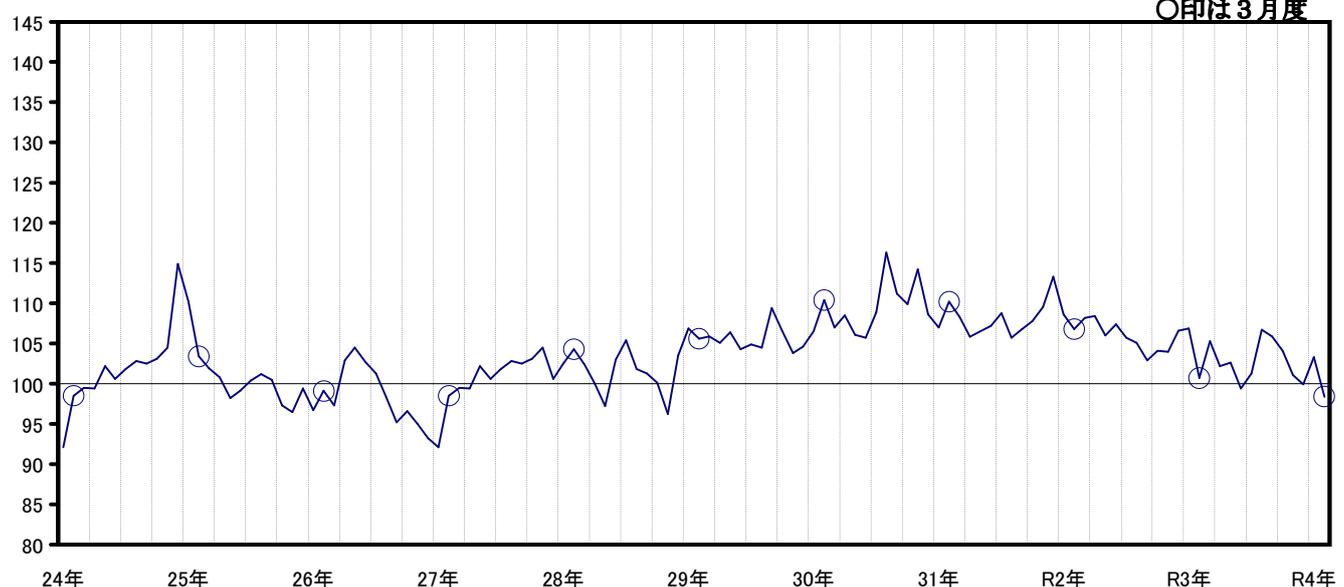
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

3 月 = 1.24倍

*前月比 (季節調整値) : 0.03ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

3月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.24倍となり、前月を0.03ポイント上回った。14か月連続で1倍台となった。また、6か月ぶりに全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比12.9%増)は12か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比2.2%減)が2か月連続、運輸業・郵便業(同4.6%減)が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業(同8.5%増)が18か月連続、製造業(同41.0%増)が14か月連続、卸売業・小売業(同22.8%増)が10か月連続、医療・福祉(同8.3%増)が13か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同14.6%増)が14か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
県	1.19	1.19	1.16	1.14	1.14	1.18	1.21	1.24
全 国	1.15	1.15	1.16	1.17	1.17	1.20	1.21	1.22

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
建 設 業	14.7	6.7	1.5	8.8	4.7	8.3	3.8	8.5
製 造 業	81.3	41.2	40.1	52.3	48.7	33.4	38.1	41.0
情 報 通 信 業	19.5	17.6	▲5.0	▲4.3	▲5.5	8.2	▲10.7	▲2.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	0.1	29.2	18.5	▲9.2	33.1	24.3	13.8	▲4.6
卸 売 業 ・ 小 売 業	6.4	2.6	21.5	14.7	7.0	25.7	13.1	22.8
医 療 ・ 福 祉	12.9	3.1	7.5	20.8	17.6	8.2	21.6	8.3
サービス業(他に分類されないもの)	34.6	30.5	34.8	23.2	23.3	24.7	20.4	14.6
合 計	18.2	14.3	15.6	19.0	17.4	17.1	20.2	12.9

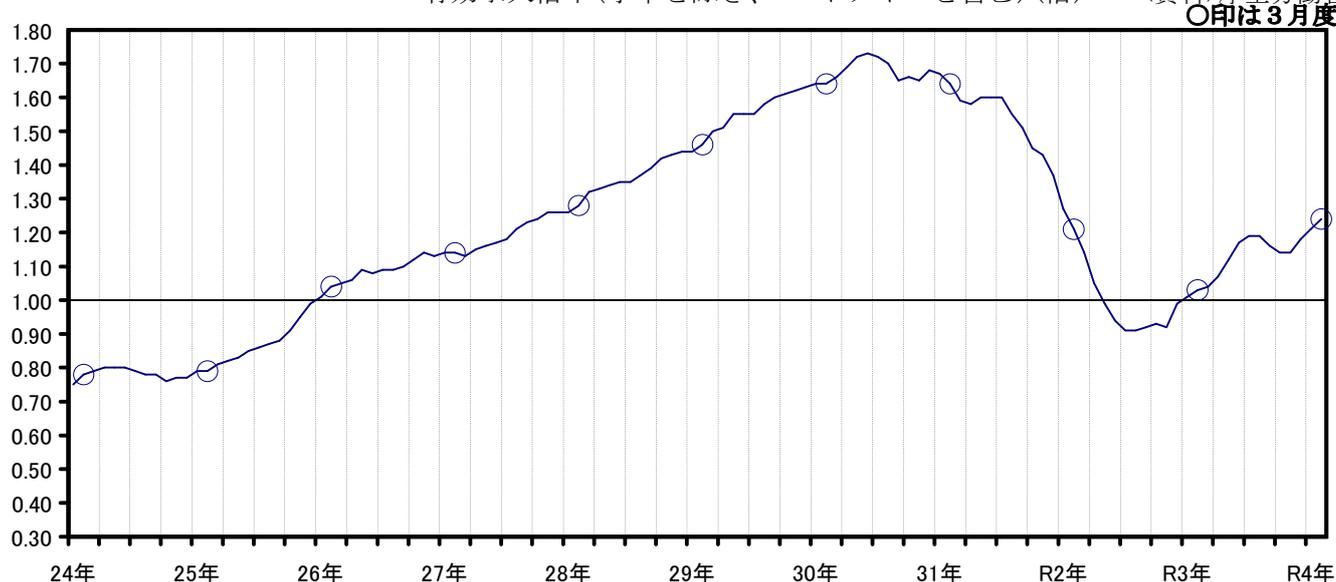
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

3月 = 10,594人

*前月比: 0.5%増

*前年同月比: 15.4%減

<概況>

3月の雇用保険受給者実人員は10,594人で、前月比は0.5%増と、8か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比は15.4%減と10か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.6%と前月から0.1ポイント改善した。
 静岡県(令和3年10~12月)の完全失業率は2.3%で、前期(令和3年7~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
実人員(人)	13,112	12,737	12,261	11,479	11,196	11,015	10,541	10,594
前月比(%)	▲0.5	▲2.9	▲3.7	▲6.4	▲2.5	▲1.6	▲4.3	0.5
前年同月比(%)	▲22.2	▲23.7	▲23.1	▲21.5	▲18.3	▲17.5	▲15.7	▲15.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲11.6	▲16.0	▲18.1	▲13.2	▲13.0	▲11.6	▲13.9	▲15.2

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R3年8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月	3月
完全失業率(全国)(%)	2.8	2.8	2.7	2.8	2.7	2.8	2.7	2.6

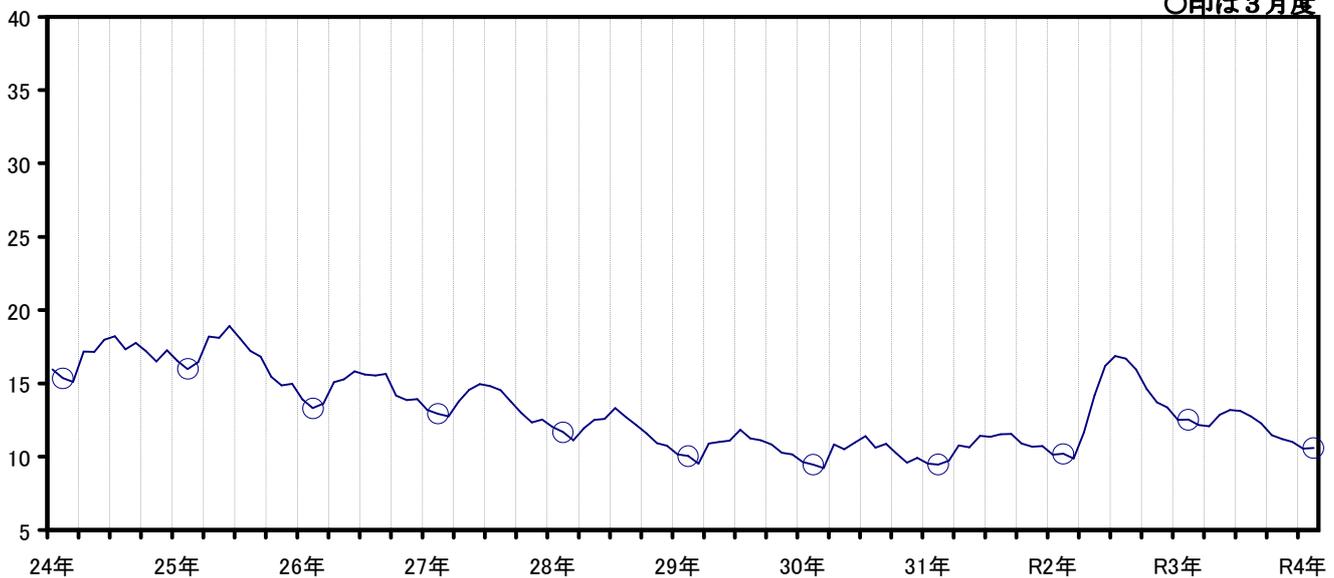
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省
○印は3月度



(3) 所定外労働時間指数

2月 = 116.6

*前月比(季節調整済指数)： 1.6%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 18.6%増

<概況>

2月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は116.6(季節調整済指数)で、3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は18.6%増と、3か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比 12.3%減)が4か月連続、情報通信業(同 17.7%減)が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、製造業(同 14.4%増)が3か月連続、運輸業・郵便業(同 0.7%増)が2か月ぶり、卸売業・小売業(同 28.0%増)が8か月連続、医療・福祉(同 34.0%増)が2か月連続、その他のサービス業(同 48.1%増)が15か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月
指数	111.4	107.4	99.8	102.7	102.0	104.9	114.8	116.6
前月比(%)	2.6	▲3.6	▲7.1	2.9	▲0.7	2.8	9.4	1.6
前年同月比(%)	25.3	12.7	▲1.9	2.9	0.0	4.5	11.3	18.6
(参考)全国前年同月比(%)	15.5	10.2	5.7	3.5	6.1	7.0	7.1	7.0

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4年1月	2月
建設業	▲10.9	▲15.5	▲28.8	57.8	▲3.6	▲24.5	▲16.2	▲12.3
製造業	39.1	22.8	0.9	▲3.7	▲8.7	3.7	13.4	14.4
情報通信業	▲34.6	▲8.0	▲8.5	▲10.2	▲31.9	▲11.8	1.6	▲17.7
運輸業・郵便業	33.1	31.0	15.8	21.0	30.2	34.6	▲17.7	0.7
卸売業・小売業	32.8	33.7	24.1	27.0	37.6	29.2	60.8	28.0
医療・福祉	5.1	▲10.1	▲13.7	▲10.0	▲12.5	▲5.7	13.2	34.0
その他のサービス業	60.4	41.2	41.2	31.5	36.0	25.7	31.4	48.1
調査産業計	25.3	12.7	▲1.9	2.9	0.0	4.5	11.3	18.6

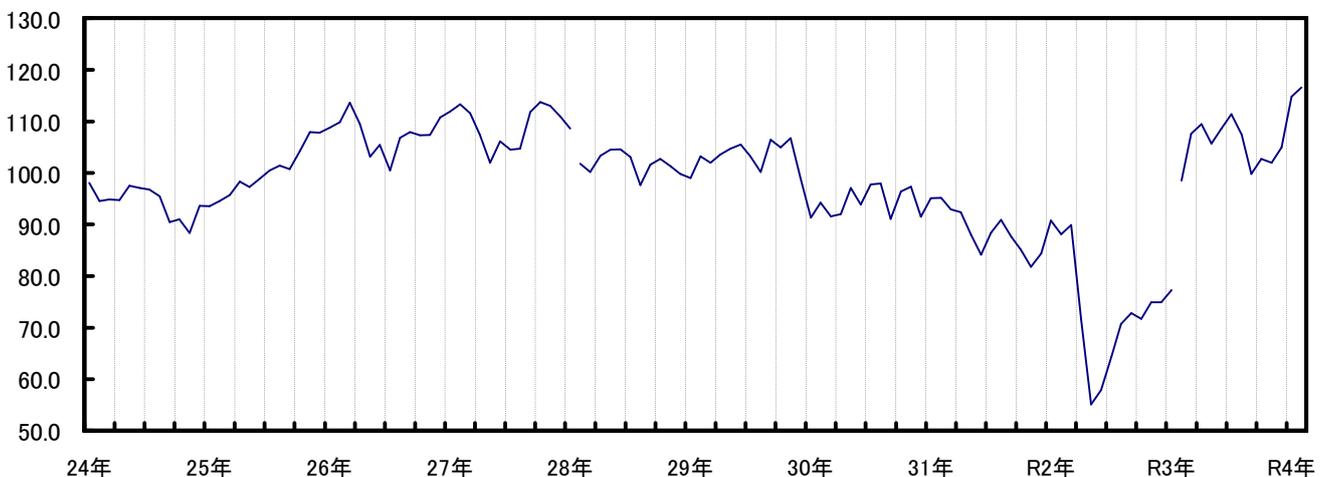
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

4 月 = 113.5

*前 月 比: 1.2%上昇

(平成27年=100)

*前年同月比: 10.0%上昇

<概 況>

4月の国内企業物価指数は113.5となり、前月比は1.2%の上昇となった。また、前年同月比は10.0%の上昇となった。

	R 3年9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月
国内企業物価指数	107.2	108.7	109.3	109.5	110.4	111.4	112.3	113.5
前 月 比 (%)	0.4	1.5	0.6	0.2	0.9	1.0	0.9	1.2
前年同月比 (%)	6.5	8.4	9.2	8.9	9.2	9.8	9.7	10.0

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

2 月 = 142,439億円

*前 月 比: 0.1%減

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 2.0%減

<概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,439億円で、前月比は0.1%の減少となった。また、前年同月比は2.0%の減少となった。

	R 3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月
貸出残高(億円)	143,574	143,032	143,213	142,571	142,603	143,456	142,566	142,439
前 月 比 (%)	▲ 0.1	▲ 0.4	0.1	▲ 0.4	0.0	0.6	▲ 0.6	▲ 0.1
前年同月比 (%)	▲ 1.1	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 1.8	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 2.0

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

2 月 = 1.364%

*前 月 差: 0.006ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.066ポイント減

<概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.364%で、前月から0.006ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.066ポイントのマイナスとなった。

	R 3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月
貸出約定金利 (%)	1.406	1.403	1.396	1.394	1.384	1.373	1.370	1.364
前月差(ポイント)	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.007	▲ 0.002	▲ 0.010	▲ 0.011	▲ 0.003	▲ 0.006
前年同月差(ポイント)	▲ 0.057	▲ 0.057	▲ 0.057	▲ 0.054	▲ 0.062	▲ 0.062	▲ 0.064	▲ 0.066

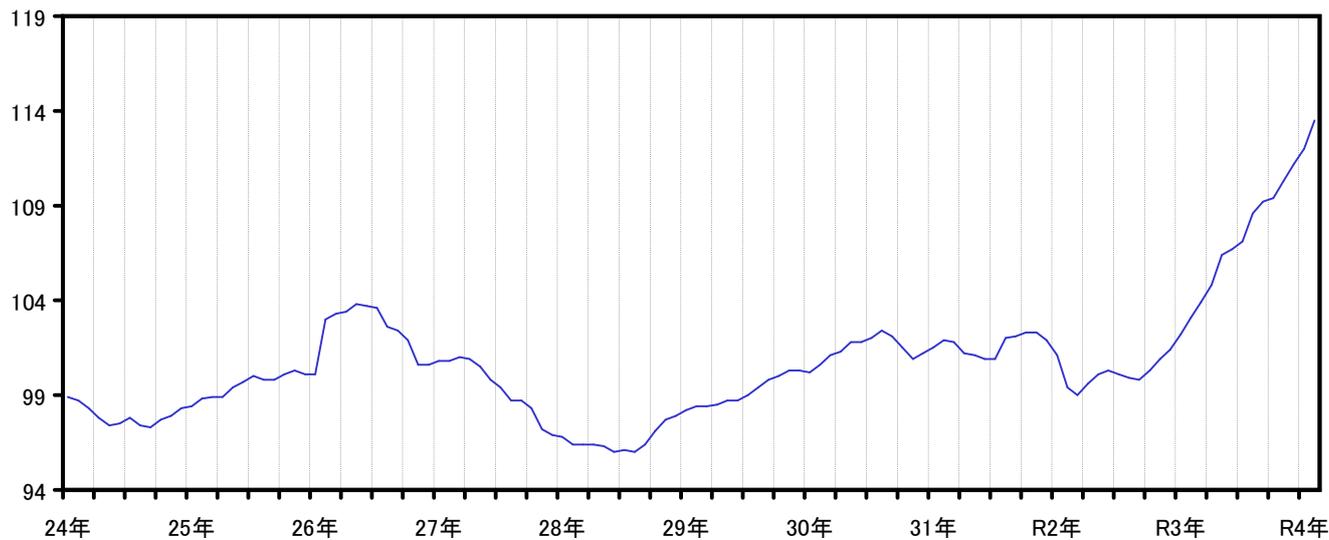
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

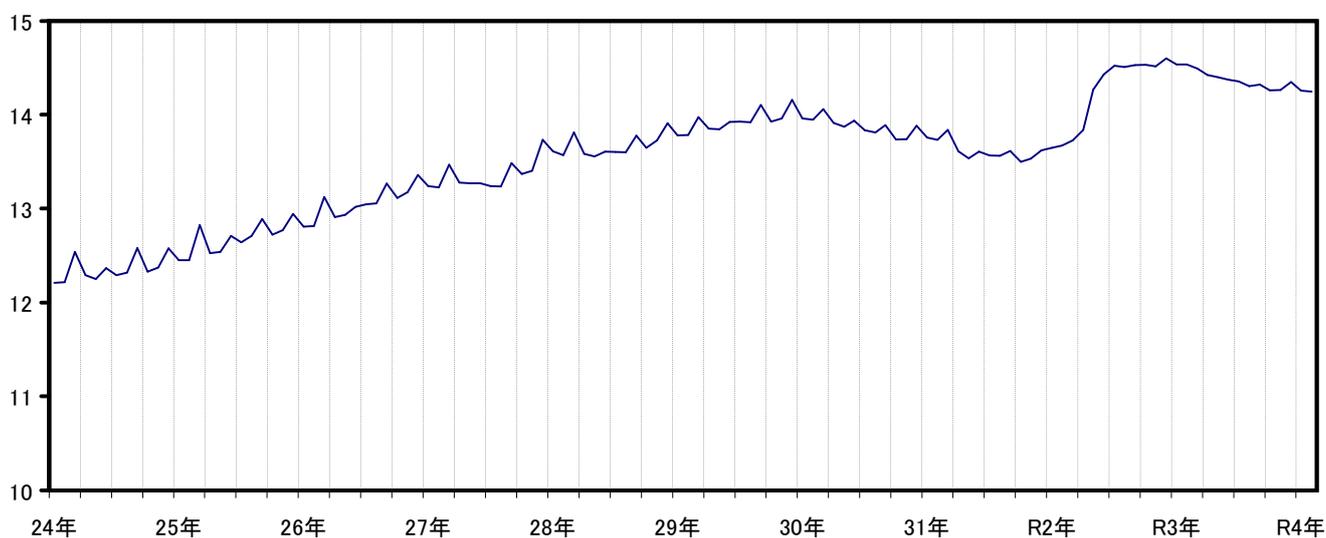
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



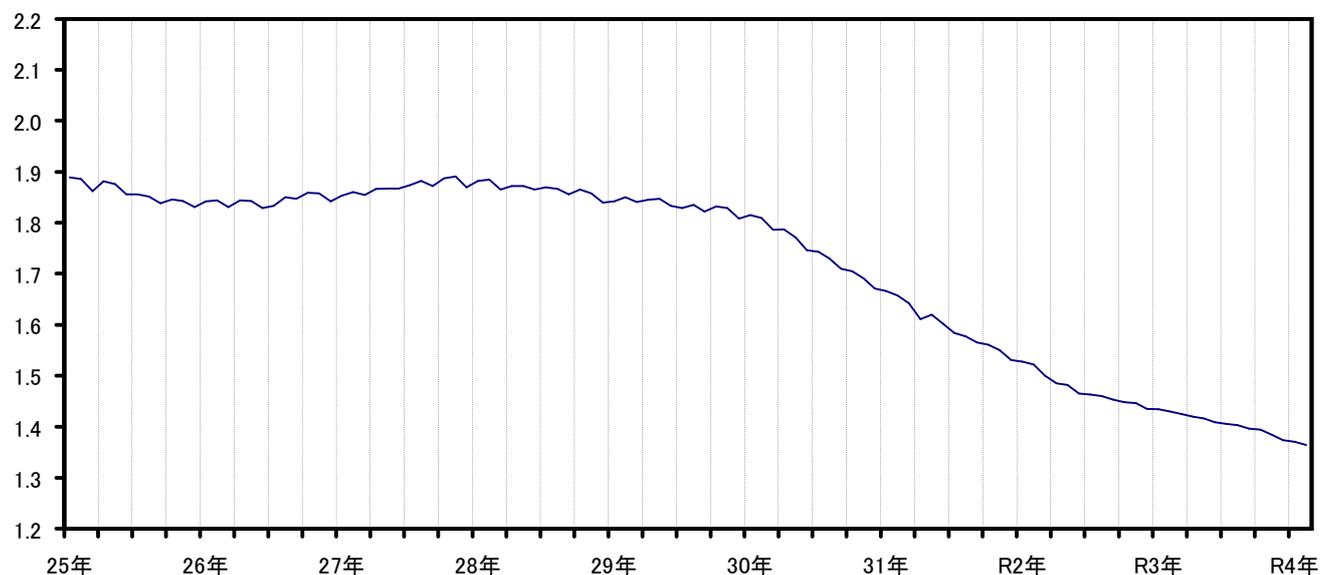
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**3月 = 26,609百万円**

*前年同月比： 22.2%増

<概況>

3月の保証承諾は、金額は26,609百万円（前年同月比 22.2%増）、件数は2,390件（同 30.1%増）と、いずれも25か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 3年8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
保証金額（百万円）	15,609	16,487	14,839	18,311	24,407	13,162	17,160	26,609
前年同月比（%）	26.0	35.7	37.2	42.9	43.2	44.8	23.1	22.2
保証件数（件）	1,636	1,795	1,516	1,677	2,240	1,279	1,611	2,390
前年同月比（%）	34.1	46.8	43.5	46.4	42.9	46.2	30.2	30.1

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**4月 = 126.04円/ドル**

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前月差： 7.53円安

*前年同月差： 16.91円安

<概況>

4月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は126.04円で、前月と比べて7.53円の円安となり、4か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	R 3年9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月
平均相場（円）	110.17	113.10	114.13	113.87	114.83	115.20	118.51	126.04
前月差（円）	0.33	2.93	1.03	▲ 0.26	0.96	0.37	3.31	7.53
前年同月差（円）	4.43	7.86	9.73	10.05	11.13	9.84	9.86	16.91

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****4月 = 19件**

*前年同月比： 5.5%増

<概況>

4月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は19件（前年同月比 5.5%増）、負債総額は5,953百万円（同 96.5%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が14件と全体の73.7%を占め、293か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

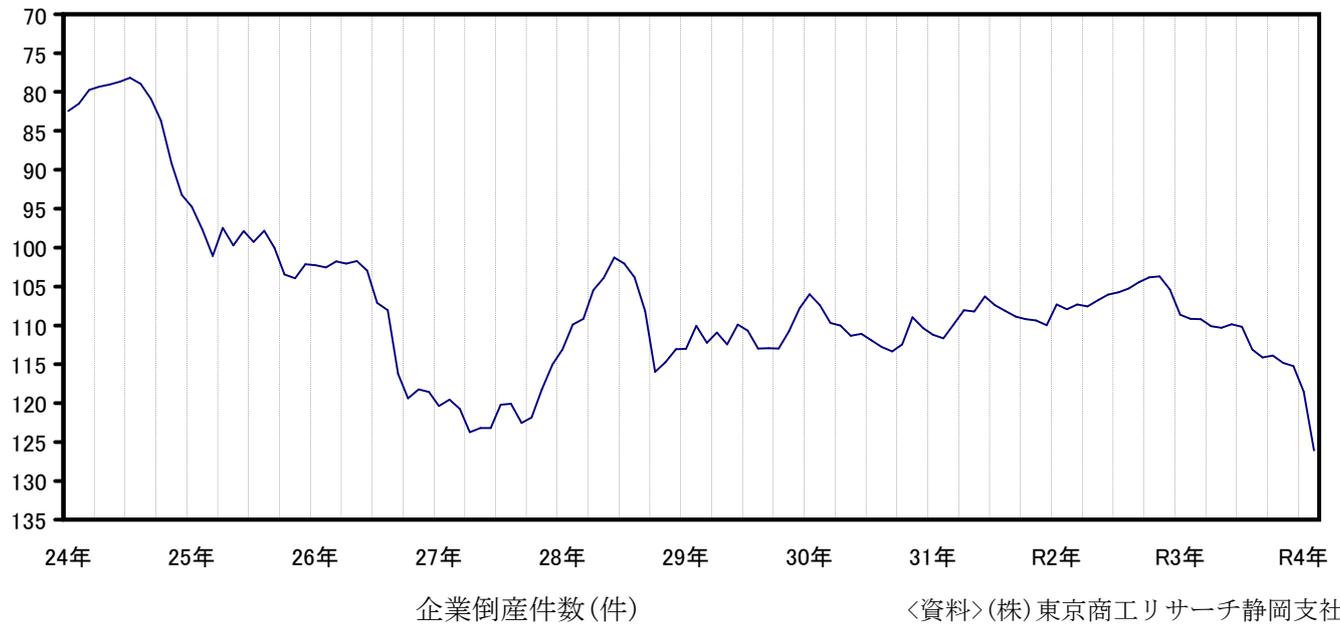
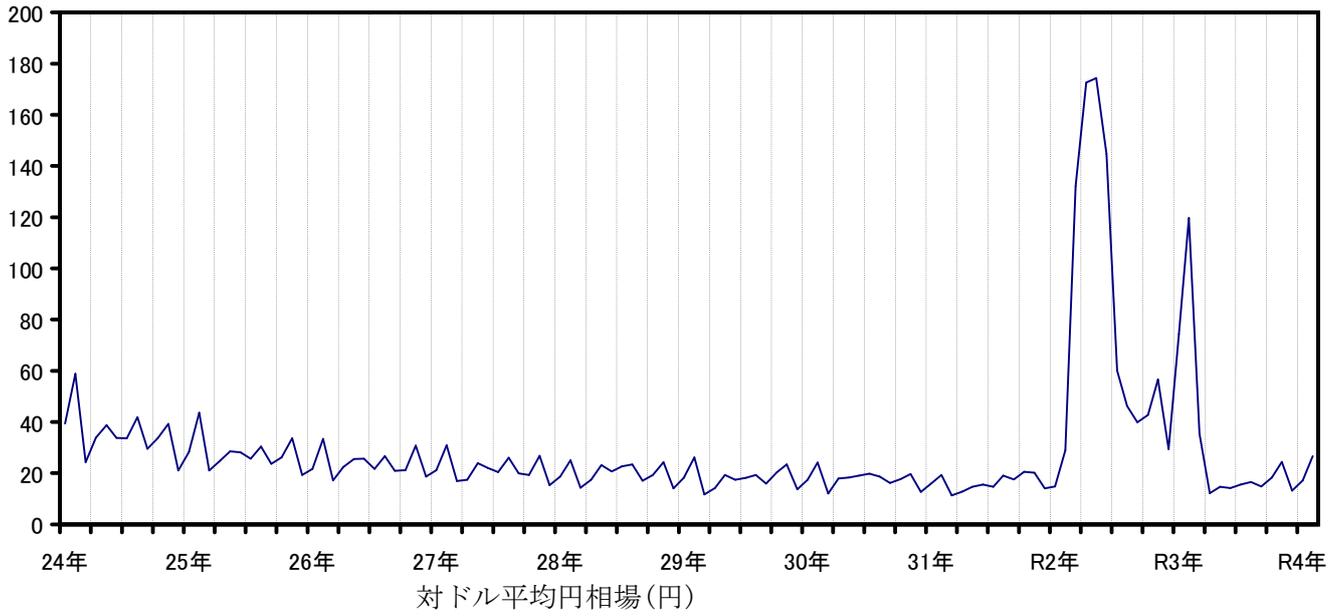
	R 3年9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月
倒産件数（件）	15	20	19	13	8	7	16	19
前年同月比（%）	15.3	81.8	18.7	▲ 31.5	▲ 46.6	▲ 46.1	▲ 11.1	5.5
うち不況型倒産件数(件)	15	14	16	13	8	6	14	14
負債総額（百万円）	1,037	22,541	1,191	1,278	1,799	746	1,507	5,953
前年同月比（%）	▲ 8.7	2,686.2	▲ 28.1	▲ 34.1	▲ 87.9	▲ 76.3	▲ 47.0	96.5

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

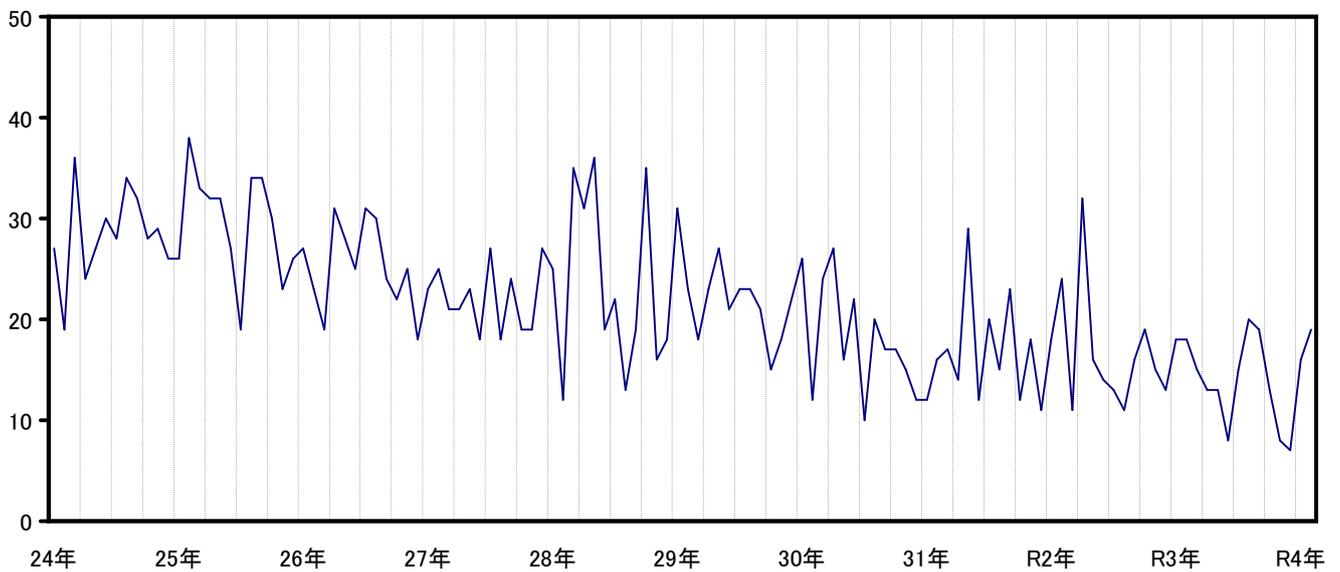
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和4年3月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>2月の国内二輪車生産台数は、52,118台（前年同月比 6.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、14,325台（同 24.5%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,286台（同 37.0%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、2,286台（同 30.6%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、33,221台（同 11.6%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,074台（同 19.6%増）で、11か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、29,800台（同 28.5%減）で、13か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>2月の自動車国内生産台数は、693,704台（前年同月比 1.6%減）と、7か月連続で前年実績を下回った。輸出は312,462台（同 7.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、乗用車が7か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>3月の冷蔵庫の国内出荷額は411億円（前年同月比 1.6%減）で、5か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は392千台（同 6.8%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>3月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,011千台（同 2.6%増）で、10か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は67千台（同 2.5%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>3月の携帯電話の国内出荷台数は、1,445千台（同 6.1%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,102千台（同 10.3%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 76.3%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>3月の工作機械の受注総額は、1,662億6,300万円（前年同月比 30.0%増）で、17か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は1,060億2,400万円（同 21.3%増）で、17か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが518億7,100万円（同 2.8%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。内需は602億3,900万円（同 48.8%増）で、13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「材料購入価格が値上がりしている。製品価格に反映されず、仕事が増加しているのに収益は悪い。」「コロナの長期化、ウクライナ問題発生から昨年後半のような回復の勢いがなくなりつつあり、企業間においても優劣格差が拡大傾向にある。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

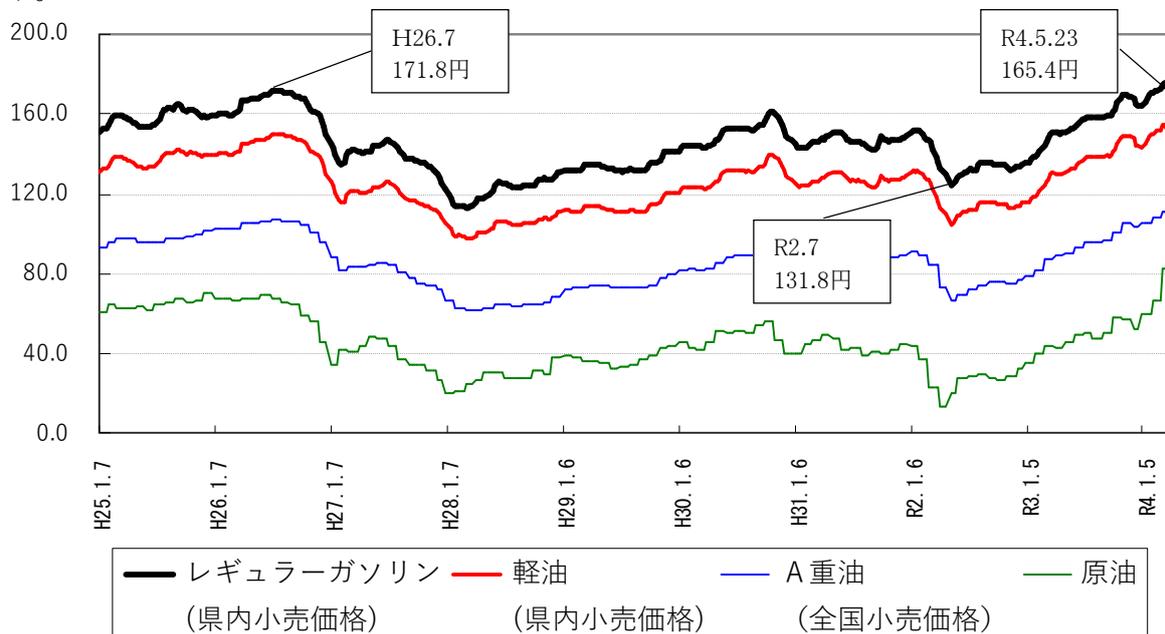
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>3月の県内楽器メーカーの販売金額は、57億3,615万円（前年同月比13.1%増）で、13か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが30億2,910万円（同25.6%増）で、国内向けが27億705万円（同1.9%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,210台（同6.4%減）であった。機種別では、アップライトピアノが2,196台（同7.0%減）、グランドピアノが1,014台（同5.1%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,654台（同7.5%減）、国内向けが1,208台（同4.9%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>3月の紙・板紙の国内出荷高は、2,031千トン（前年同月比1.7%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。内訳は、紙は1,003千トン（同1.7%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。板紙は1,029千トン（同1.7%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、535千トン（同1.9%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、172千トン（同7.9%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>3月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,030千箱（前年同月比1.7%増）と3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は723千箱（同2.1%増）と3か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は464千箱（同1.1%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は307千箱（同0.9%増）と3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,432千箱（同4.3%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>3月の広幅織物の県内生産は、768千㎡（前年同月比7.6%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、678千㎡（同5.4%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、89千㎡（同27.3%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、17千㎡（同6.8%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>3月の全国百貨店での家具販売額は、46億1,821万円（前年同月比3.1%減）と2か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、552億2,907万円（同2.0%減）と11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>3月の県内百貨店・スーパーの販売額は、36,202百万円（既存店前年同月比 0.5%増）と前年実績を上回った。品目別に見ると、身の回り品、飲食料品、家庭用品が前年実績を下回ったものの、衣料品が前年実績を上回った。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。まん延防止等重点措置の解除により、外食が増加したことにより、食料品の売上げが減少した。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げが減少したが、来客数は増加した。雑貨（美術・宝飾・貴金属等）の売上げが特に好調であった。衣料品や生鮮食品の売上げは減少した。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げは前年並で来客数が減少した。まん延防止等重点措置の解除により、外出が増え、季節物の衣料品や映画館等サービス施設の売上げは増加した。家電は前年の売行きが好調だったため、前年と比較して売上げが減少した。</p> <p>（資料）関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和4年3月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約41万人で、前年同月比 9.1%増となった。</p> <p>本年の3月は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、まん延防止等重点措置が春休み期間前に解除されたことなどから、入込数が昨年度よりも増加していると考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線※¹）の合計通行車両数は、約62万台となり、前年同月比 12.3%増となった。</p> <p>※1 令和元年10月から（遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化）。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー165.4円/Lと、平成26年7月以来の高水準。



出典：石油情報センター

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	R 3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
完成車生産台数(台)	22,599	20,832	17,275	16,733	27,103	25,792	21,054	27,056	27,994
前年同月比(%)	63.1	44.6	▲ 18.7	▲ 20.0	30.3	46.2	▲ 0.9	7.5	▲ 5.2
KD輸出額(百万円)	1,166	926	1,476	1,075	1,427	1,504	1,433	1,621	1,940
前年同月比(%)	126.7	82.9	124.4	▲ 17.8	24.4	▲ 5.4	2.5	▲ 4.0	39.0

<楽 器>

	R 3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
生産総額(百万円)	3,064	2,563	3,003	3,020	3,056	2,964	2,788	2,922	3,233
前年同月比(%)	31.8	42.4	28.3	4.6	8.6	4.1	29.2	7.6	7.7

<缶詰>

	R 3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
食缶生産高(千ケース)	1,027	975	1,065	1,043	1,005	880	883	936	1,030
前年同月比(%)	▲ 3.3	▲ 5.2	▲ 4.7	▲ 2.4	0.4	▲ 8.3	6.6	2.6	1.7
うち水産缶詰(%)	▲ 5.4	▲ 7.1	▲ 11.2	▲ 2.6	0.5	▲ 4.2	4.7	2.9	2.1
農畜産缶詰(%)	2.0	▲ 0.2	13.0	▲ 2.0	0.1	▲ 16.9	10.7	1.7	0.9
飲料缶生産高(千ケース)	7,698	7,702	5,606	5,805	6,195	5,511	4,720	6,091	7,432
前年同月比(%)	▲ 9.2	5.0	▲ 13.7	▲ 7.2	3.6	▲ 9.8	1.3	18.0	▲ 4.3

<織 維>

	R 3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
広幅織物(千㎡)	664	579	648	685	814	765	747	659	768
前年同月比(%)	0.2	0.4	1.2	2.8	3.5	5.0	▲ 5.1	▲ 12.0	7.6
小幅織物(千㎡)	14	13	13	14	13	14	15	16	17
前年同月比(%)	34.9	0.7	▲ 14.0	▲ 13.0	▲ 23.7	▲ 28.1	▲ 26.8	▲ 12.5	▲ 6.8

<観 光>

	R 3年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,355	1,636	901	1,203	1,500	1,695	1,299	989	1,498
前年同月比(%)	29.1	4.9	▲ 26.4	▲ 17.3	▲ 8.3	18.6	81.8	40.7	22.6
観光施設(10施設)入込 (千人)	251	267	89	390	442	309	272	197	411
前年同月比(%)	12.3	▲ 31.4	▲ 73.9	▲ 1.5	▲ 7.2	14.2	32.1	▲ 32.3	9.1
有料道路(4路線)通行量 (千台)	611	610	499	570	608	617	519	465	623
前年同月比(%)	25.0	▲ 11.2	▲ 10.4	▲ 0.5	▲ 1.1	10.2	21.3	▲ 1.1	12.3

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和4年5月号 通巻553号

発行 静岡県経済産業部
令和4年5月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>